



総合内科の紹介

診療部長 **高見 史郎**



総合内科は、1999年の新病院開設時に誕生した診療科であり、当院の診療科の中では歴史の浅い診療科です。

発足当時は総合診療科という名称でしたが、本年度より総合内科に名称変更されています。

業務の主内容は、「分類不能な主訴」をお持ちの初診外来患者さんの初診診療です。「ここでいう「分類不能な主訴」とは、来院されてもどの診療科に受診してよいか迷ってしまうような主訴、例えば、「微熱が続く」、「疲れやすい」、「体がむくむ」などの症状をさします。このような場合に受診

していただくのが総合内科です。したがって、その守備範囲は広く、様々なケースに遭遇します。勿論、感冒と考えられる軽症のケースや健康相談的なケースも多いのですが、中にはより専門性が高い疾患が発見され、専門診療科へ紹介するケースや、一見重症感はないのですが、非常に重篤な疾患が潜んでいるケースなどもあり、肝を冷やすことも少なからず経験します。

現在の診療体制は、循環器、腎臓、血液、糖尿病、消化器など専門領域の異なる10名のスタッフ（老若男女…、いや若手精鋭から超ベテランまで）が交代制で外来診療を行っています。定期的なミーティングで問題症例などについての意見交換を行うことにより、スタッフ間の連携や診療のレベルアップに努めています。

本年度より、総合内科で経験した症例について、院内での症例検討会を開始しました。主に研修医・専攻医の教育を目的に開始しましたが、中堅・ベテランの医師でも十分に収穫のある検討会になっているものと思います。（実は、私が一番ためになっているかも。）また、この検討会を通じて院内での診療科間の連携を深めることができ、ばよいかと考えています。さらに将来的には、医師会など外部の先生を含めた検討会になればよいとも考えています。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



CPC開催のご案内

2月21日(月)

剖検例を対象としたCPC 17時半～9階会議室

NST勉強会のご案内

2月10日(木)

「簡易懸濁法・味覚障害」薬剤部:薬剤師 渡邊

「口腔ケア」歯科口腔外科:歯科衛生士 山本

2月24日(木)

「脳血管障害を併発したⅡ型糖尿病患者の

栄養療法」内科:石井 通予

17時半～19時9階会議室

筆記用具・電卓ご持参下さい

在宅医療を支えていただいて

ありがとうございます

病院から在宅へ患者様がお戻りになられるとき、「退院時共同指導＝拡大カンファレンス」を計画させていただいております。できる限り早期の連絡を心がけていきますので、「カンファレンスのご案内」が送付されました折には医師もしくは看護師(歯科医師もしくは歯科衛生士)の参加をお願いいたします。

私どもとしましても主治医の参加はもちろんのこと、訪問看護ステーションやケアマネージャーなどへの参加要請をおこなってまいりますので、ご協力いただきますようお願いいたします。